文部科学省科学技術人材育成費補助金「テニュアトラック普及・定着事業」

OKAYAMA UNIV.

NEWSLETTER

No. 15
2016.1

岡山大学　ダイバーシティ推進本部　男女共同参画室

Index

H27年度　ダイバーシティ研究環境実現
イニシアティブ事業　採択 …… 1
シンポジウム等参加記 …… 2
オープンキャンパス「理系の魅力　女子高校生の皆さんへ」開催／
第２回スキルアップ講座　英語論文個別レッスン／
第３回スキルアップ講座　講義法セミナー／
第４・５回　Family Meeting …… 3
女性サポート相談室だより／お手軽簡単 Recipe ／
Information ／新室員紹介／編集後記 …… 4

H27年度　ダイバーシティ研究環境実現 イニシアティブ事業　採択

この度、H27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業（特色型）」の採択を受けました。

本事業は、研究環境のダイバーシティを実現し、優れた研究成果の創出につなげるために、女性研究者がその能力を最大限発揮できるよう、ライフイベント及びワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備や女性研究者の研究力向上のための取組及び上位職への積極登用に向けた取組み支援を行うものです。

これまでも、ダイバーシティ推進本部男女共同参画室が中心となり、本学の女性研究者への雇用、サポート体制整備、意識啓発等に取り組んできましたが、事業採択を受け、今後も更に質の高い女性研究者の雇用・育成、支援を行って参ります。

引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成28年１月吉日

企画・総務担当理事　**阿部　宏史**

本学の事業概要

理系分野を中心に、ポストアップによる女性研究者の上位職登用およびウーマン・テニュア・トラック制度等により女性研究者の採用を促進するとともに、教員評価制度の見直しなどにより優秀な女性研究者の活躍を推進します。

このための基盤として、共同研究プロジェクトの立ち上げ・展開、女性研究者自らが主催するシンポジウム、ワークショップの開催支援等を通じてリーダーシップ・マネジメント力を涵養します。これにより単にすぐれた研究能力を備えるだけでなく、チームリーダーとして研究成果を国際的に発信するなど、総合研究力のある女性研究者を着実に輩出する体制を整備します。加えて、研究支援やカウンセリング・メンタリング、さらには継続的なキャリア形成支援などのサポートを強化します。

Upgrade
上位職への登用

- 女性研究者12人以上を上位職に登用
- 女性研究者の採用比率 28％→35％

Empowerment
研究力の涵養

- 共同研究（５件）・国内シンポジウム（２件）・国際シンポジウム（１件）のオーガナイズ
- 外部資金獲得数、研究発表数等の３割増加

Support
サポートシステムの構築

- 研究支援制度の充実
- カウンセリング、ファミリーサポートシステムの構築

参加記

Participation Report 2015.10-11

日本女性会議 in 倉敷市

日本女性会議とは、昭和59年からスタートし、地域が抱える様々な課題に対して男女共同参画を切り口として解決することを目的に毎年開催されています。昨年は倉敷で「思いやり男女が集う白壁のまち」というテーマで開かれ、記念シンポジウムのコーディネーターとして前室長である沖陽子副学長が登壇されました。行政、民間、地域における男女共同参画の取り組みがそれぞれのパネリストによって紹介され、沖副学長からは、本学における WTT 制度を始めとして女性研究者支援のための活動が紹介されました。

平成27年 10/10 Sat

第14回大学改革シンポジウム「女性の活躍促進」 in 一橋講堂

一般社団法人国立大学協会が高等教育関係者を対象に年に 1 度開催されるシンポジウムに参加しました。政府の「指導的地位を占める女性の割合を2020年までに少なくとも30% 程度」とする目標達成に向けて、国立大学法人等においてもその対応が求められていることから、今回は「女性の活躍促進」をテーマに、基調講演およびパネルディスカッションが行われました。各大学の取り組みも紹介されましたが、岡山大学での取り組みの方向性とほぼ同様でした。議論のなかで、支援対象を小学校高学年の子供にまで拡げることや、介護支援拡大の必要性、女性教員増を図るための工夫の必要性などが強調されました。

平成27年 10/23 Fri

「女性研究者研究活動支援事業（拠点型）」「女性研究者の持続的な活躍を目指して ～研究人材の多様化と研究者支援のあり方～」 in 北海道大学

北海道大学で開催されたシンポジウムでは、基調講演として JST プログラム主管の山村康子氏より、日本における女性研究者の現状と女性研究者増加の必要性についての説明と、JST による取組みの目的や概要説明がありました。各大学による病児保育や研究支援員制度、ランチミーティングの定期開催等の取組みにより、特に30歳代女性研究者の離職率の低下や、発表論文数の増加、女性テニュア教員の増加などがもたらされていると言及されました。

平成27年 10/27 Tue

中国四国地区男女共同参画シンポジウム in 山口大学

中四国の国立大学における男女共同参画を推進するために、各大学の取り組み紹介および情報交換会を行っています。今年は山口大学において、安部昭恵首相夫人も参加されるなど盛大に開催されました。関西大学多賀教授による「男性にとっての男女共同参画の意義と課題」と題した基調講演では、男性の変化なくして女性の活躍は望めないが、固定的性別役割の中で男性が疲弊している現状をデータに基づき示され、解決のためには「標準的働き方」の見直しと女性の経済的自立が必要と訴えられました。

平成27年 11/27 Fri

Report 1

オープンキャンパス
「理系の魅力　女子高校生の皆さんへ」開催

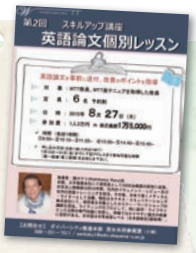
開催日　H27年８月７日（金）・８日（土）

女子高校生に理系の面白さを伝えるために、女子大学院生の協力を経て大学での研究内容や大学生活も含めてフリートーキングできるブースを出展しました。

２日間あわせて約100名の女子高校生とその家族が訪れ、参加者からは「理学部か農学部のどちらに進学しようか迷っていたが、それぞれの学部の違いが分かり、参考になった」といった感想が寄せられました。

Report 2

第２回スキルアップ講座
英語論文個別レッスン

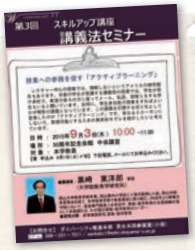


開催日　H27年８月27日（木）

英語論文を事前に送付し、ネイティブ講師から論文の書き方や表現の仕方を個別に指導を受ける初めての取り組みを行いました。５名の先生が応募され、１人１時間をかけて、細かく指導が受けられ、参加者からは、「論文の構成に対する指摘は有用だった」などの反響がありましたが、「１時間ではとても短く、不十分だった」「より専門分野に近い講師が望ましかった」など、今後の改善のための貴重な意見もいただきました。

Report 3

第３回スキルアップ講座
講義法セミナー



開催日　H27年９月３日（木）

「授業への参画を促すアクティブラーニング」と題し、教育学研究科　黒崎東洋郎教授が講師として担当くださいました。教育環境の現状とアクティブラーニングの背景と必要性、学生参加型授業にするための具体的モデルが紹介されました。

「講義法の工夫の必要性を痛感した」などの感想が寄せられ、優れた講義法はどうあるべきかについて考えるきっかけになり、参加者には今後の授業改善に強い動機を得ることができたようです。

Report 4

第４・５回
Family Meeting

開催日　H27年12月５日（土）・12日（土）

年齢の小さなお子様を育てている家族の交流を深めることを目的にしたFamily Meetingを、昨年に引き続きボーネルンド岡山で開催しました。家事も育児も仕事も家族みんなで支えあっていけたらという願いをこめて家族全員参加型のプログラム構成にしました。２回の実施にも関わらず、定員を大きく上回るご応募があり、「子どもと思いきり遊ぶことが出来て良い時間だった」「職員との交流が出来た」等の感想をいただきました。

女性サポート 相談室だより

第21回 キャリアカフェ

開催日時 平成27年９月５日（土）

秋晴れの土曜の午後、若手キャリア研究者支援センターとのコラボ企画として開催しました。ゲストスピーカーとして、本学で学位取得後日本ゴアで研究者として勤務しながら、二人目のお子様を妊娠中の小椋友佳さんをお招きしました。企業での勤務と子育てを両立するためには、結婚前からパートナーとお互いのキャリアライフについて話し合っていたことが何より重要とのことでした。女性のキャリアの継続には、本人の強い意思と共にその思いを共有してくれるパートナーや家族の理解が何よりも大事だということに気づかせてくれる内容でした。

相談はこちらへ
- メールアドレス：support-w@adm.okayama-u.ac.jp
- 電話番号（代表）：086-251-7011

お手軽 簡単 Recipe

第４回 濃厚 かぼちゃスープ

油で炒めないので、濃厚ですがヘルシーです！

［材料］ ２～３人分
- かぼちゃ 1/4（1cm 程度に切る）
- たまねぎ 1/2（薄切り）
- 豆乳（牛乳でも可）300ml
- 鶏ガラスープ 小さじ１
- 塩 少々 ／ 粗挽き胡椒
- はちみつ 小さじ１（お好みで…）

① かぼちゃと玉ネギを、それぞれラップにかけてレンジで少し柔らかくなるまで温める。（目安 かぼちゃ…600ワット４分、玉ネギ…600ワット１分）
② 鍋に水200ml と鶏ガラスープを入れ、かぼちゃ・玉ネギを入れて中火で温める。（野菜をしっかり潰したい場合は、水200ml と野菜をミキサーにかけてね！）
③ かぼちゃがしっかり柔らかくなったら豆乳を入れ、かぼちゃを少し潰しながら弱火でかきまぜながら温める。
④ 塩、粗挽き胡椒を入れて、出来上がり。
⑤ はちみつを入れれば、少しまろやかになります。

その他の野菜でもお試しください。（じゃがいも、人参など）野菜はすべてレンジでチン !!

Information

キックオフシンポジウム

「次世代・コア世代女性研究者が花開く支援を目指して」

日 時 平成28年３月４日（金）午後１時より
場 所 創立50周年記念館

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業」採択を受け、本学の取り組みを学内外の皆様に広く知っていただくために、シンポジウムを開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

新室員紹介

坂口 英 教授（特任）

10月から室員の仲間に加わりました。定年退職後６ヶ月ぶりの復帰ということで、新鮮味には欠けますが、古ダヌキとしての役割を全うし、男女共同参画室の事業推進にお役に立つことができればと思っています。どうぞよろしくお願いします。

編集後記

昨年、女性が社会で活躍できる環境整備を整えるための「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が制定されました。これにより、本年４月１日より大企業では、行動計画の策定が義務付けられることになりました。社会を挙げて子育てと仕事を両立する女性たちを支える気運が高まる中、どちらかを担っていない女性たちからは、「仕事をしていないことを引け目に感じる」「子どもがいないことを暗に批判されているように感じる」などの、また男性からは「女性への過度な優遇だ」などの声もあります。この度採択された事業にも「ダイバーシティ」という用語が入っていますように、それは女性だけをさす言葉ではありません。性差に左右されることがなく自由に活動できる社会風土を指しています。様々なご意見に耳を傾けながら、大学だからこそできるダイバーシティ研究環境づくりに取り組んで行きたいと感じています。

お問い合せ
国立大学法人 岡山大学
ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室
〒700-8530
岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号
TEL：086-251-7011 FAX：086-251-7033
Email:sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp
http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo